

「2016年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(法学研究科)

2. あなたが本学大学院に進学した主な理由は何ですか。(複数回答)

項目	内容	延べ人数	割合
A	現在の仕事に関して、より専門知識を身に付けるため。	9	60%
B	興味・関心のある分野の勉強がしたくなったから。	0	0%
C	資格取得のため。(税理士試験科目免除、臨床心理士試験受験資格、教員専修免許等)	1	7%
D	大学院修了という学歴がほしいから。	2	13%
E	将来に不安を感じたから。	2	13%
F	時間に余裕が出来たから。	1	7%
G	その他	0	0%
G:理由			
-	-	-	-

3. あなたが本学大学院に進学するにあたり、情報をどこで得ましたか。(複数回答)

項目	内容	延べ人数	割合
A	学部の指導教員	2	10%
B	先輩	9	45%
C	学内での説明会	2	10%
D	オープンキャンパス	0	0%
E	大学院パンフレット	6	30%
F	本学ホームページ	1	5%
G	その他	0	0%

4. あなたの研究についてお尋ねします。

①現在、あなたの行っている研究はどのようなものですか。(複数回答)

項目	内容	延べ人数	割合
A	理論的研究	9	60%
B	調査・インタビュー・実験を用いる研究	0	0%
C	二次資料・史料の収集や整理を伴う研究	1	7%
D	課題の発見に関する研究	2	13%
E	課題の解決を目指す研究	2	13%
F	実践的応用に関する研究	1	7%
G	その他	0	0%
G:具体的内容			
-	-	-	-

②現時点における研究の状況はどのようになっていますか。

	当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
研究テーマ・内容が明確である	6 (55%)	5 (45%)	0 (0%)	0 (0%)
研究の独自性(オリジナリティ)を意識しながら、研究を行っている	4 (36%)	4 (36%)	3 (27%)	0 (0%)
研究の計画が具体的に定まっている	6 (55%)	2 (18%)	3 (27%)	0 (0%)
研究を行うときには、自分自身の判断によってすすめている	3 (27%)	7 (64%)	1 (9%)	0 (0%)
他者(学内の教員、先輩)に意見をもらう機会を自分で作る	4 (36%)	7 (64%)	0 (0%)	0 (0%)
学外の研究者と交流している	0 (0%)	2 (18%)	4 (36%)	5 (45%)

「2016年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(法学研究科)

5.今年度、大学院で開講されている授業についてお尋ねします。

①今年度、あなたは何科目履修しましたか。

	人数	割合
0科目	3	27%
1～2科目	2	18%
3～5科目	1	9%
6～10科目	3	27%
11科目以上	2	18%

②(1)その中で今後あなたが研究をすすめるにあたって、大いに役立つと思う科目がありましたか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	ある	9	90%
B	ない	0	0%
C	科目の履修はしていない	1	10%
	無回答	0	0%

②(2)その科目名は何ですか。

(3)どのような点が役に立つと思ったのですか。

	科目名	理由
法M1	税法持論、税法特殊研究	-
法M1	税法関連科目	研究にも実務にも直接役立つ
法M1	税法特殊研究	税法を学ぶことで実務に役立つ・実践面と学術面の両方を知ることができる
法M1	税法特殊研究Ⅱ	論理的思考が身についた。
法M1	憲法	税法や研究テーマと憲法との関係性がとても重要であるから
法M2	法律学持論	税理士業務をしていく中で法律(税法)に対する考え方が変わりました。例えば問題を解決する時、判例を参考にするようになった。(争点となっている条文の解釈を考えるようになりました。)
法M2	税法特殊研究	修士論文を書き上げるために必要な知識・能力を習得できる

③(1)今後あなたが研究をすすめるにあたって、何らかの改善をした方が良いと思う科目がありましたか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	ある	3	33%
B	ない	6	67%
C	科目の履修はしていない	0	0%
	無回答	0	0%

③(2)その科目名は何ですか。

(3)どのような点の改善した方が良いと思ったのですか。

法M1	オムニバス	授業の質に教員によって差がある点
法M2	商法	ほとんどが会社法に移行しており、受講の意義があまりないと感じました

6.あなたの研究に関する現在の指導体制・環境についてお尋ねします。

①現在の指導体制・環境に満足していますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	満足している	8	80%
B	満足していない	0	0%
C	どちらでもない	0	0%
	無回答	2	20%

「2016年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(法学研究科)

②満足できない理由は何ですか。(①でBと回答した方のみ) 該当なし

-	-
---	---

③指導体制、方法、環境に関して、入学前に担当教員によるオリエンテーションがあった方がよいですか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	あった方がよい	4	36%
B	なくてもよい	4	36%
C	どちらでもよい	0	0%
	無回答	3	27%

④その他、指導体制、方法、環境に関してご意見やご要望がございましたら、自由にご記入ください。

--	--

7. 大学院の施設・設備についてお尋ねいたします。

①大学院の研究や論文作成のための施設・設備に満足していますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	満足している	5	45%
B	満足していない	3	27%
C	どちらでもない	1	9%
	無回答	2	18%

②満足していない理由は何ですか。(①でBと回答した方のみ)

法M1	紙の管理		
法M1	パソコンの立ち上がりが遅いプリンターが壊れやすい複写機古い コピー用紙の取得方法が煩雑 Wi-Fiの設定が複雑過ぎる 夜11時閉校は早過ぎる		
法M1	13号館6階の印刷機の印刷用紙が抜かれており、印刷するためには、13号館4階のパソコン管理室まで行って、必要な分の印刷用紙をもらう必要がある。節約のためとはいえ、非常に使いかたが悪かった。		

③講義や課題や論文の作成にあたり、大学の設備(研究室及び図書館等)を利用していますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	よく利用している	7	64%
B	たまに利用している	2	18%
C	全く利用していない	0	0%
	無回答	2	18%

④その他、大学院の施設・設備に関してご意見やご要望がございましたら、自由にご記入ください。

法M1	印刷機やコピー機の紙詰まりが多い。清掃員の方は、いつも丁寧に清掃されていてとても感謝しています。
-----	--

8. 教育支援者(TA・SA)制度についてお尋ねいたします。

①あなたは、現在、教育支援者(TA・SA)として、学部授業のサポートを行っていますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	行っています	1	10%
B	行っていません	5	50%
C	過去に経験があります	0	0%
	無回答	4	40%

「2016年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(法学研究科)

②M2以降も、教育支援者(TA・SA)を続けたいと思いますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	続けたい	0	0%
B	続けたくない	0	0%
C	どちらでもない	0	0%
	無回答	11	100%

③上記②において、その回答を選んだ理由は何ですか。

--	--

④教育支援者(TA)経験が無い方へ質問です。教育支援者(TA)の経験をしてみたいですか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	してみたい	0	0%
B	してみたくない	4	36%
C	どちらでもない	2	18%
	無回答	5	45%

⑤上記④において、その回答を選んだ理由は何ですか。

法M1	授業に対しては受講生として出来ることがあるから
法M1	在職中のため
法M2	仕事との兼ね合いが心配で、具体的にイメージできないため。
法M2	仕事を通して実務を身につける方が優先であるため

9. 本学に付置している研究所についてお尋ねします。

①本学にある4研究所を知っていますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	知っている	4	36%
B	知らない	4	36%
C	興味がない	1	9%
	無回答	2	18%

②本学の研究所の施設を利用したことがありますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	よく利用している	1	9%
B	たまに利用している	1	9%
C	全く利用していない	6	55%
	無回答	3	27%

③本学の研究所が主催する「研究会」などのイベントに参加したことがありますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	よく参加している	0	0%
B	たまに参加している	0	0%
C	全く参加していない	8	73%
	無回答	3	27%

10. その他、ご意見やご要望がございましたら、自由にご記入ください。(時間数、科目の種類など)

--	--